

ちよだボランティアセンター・レポート



～みんなが参加し、支え合うまちづくり～

社会福祉法人 千代区社会福祉協議会

ちよだボランティアセンター

〒102-0074 千代田区九段南 1-6-10 かがやきプラザ 4階

電話 03-6265-6522 FAX 03-3265-9002

E-mail volunteer@chiyoda-cosw.jp URL <http://www.chiyoda-vc.com/>



～数字でみる！ちよボラ～

① 活動希望者数 4,720 人 新規 740 人	② 登録グループ数 160 団体 新規 8 団体
③ 活動延べ人数 36,152 人 昨年度 35,973 人	④ 相談受付数 1,182 件 昨年度 1,237 件

■活動対象別ボランティア活動件数及び活動延人数

種 別	内 容	活動件数	活動延人数
施 設	高齢者施設、障がい者施設、児童施設、美術館、博物館など	2,999件	8,786人
ボランティアグループ NPO等	国際協力、障がい者支援、高齢者支援 環境保護、子ども・家庭支援、手話など	3,714件	25,453人
個 人	使用済み切手整理、地域行事ボランティアなど	116件	143人
社会福祉協議会	福祉まつり、ボランティアキャンペーン、サロン、情報誌ボランティア、地域行事など	510件	1,770人
合 計		7,339件	36,152人

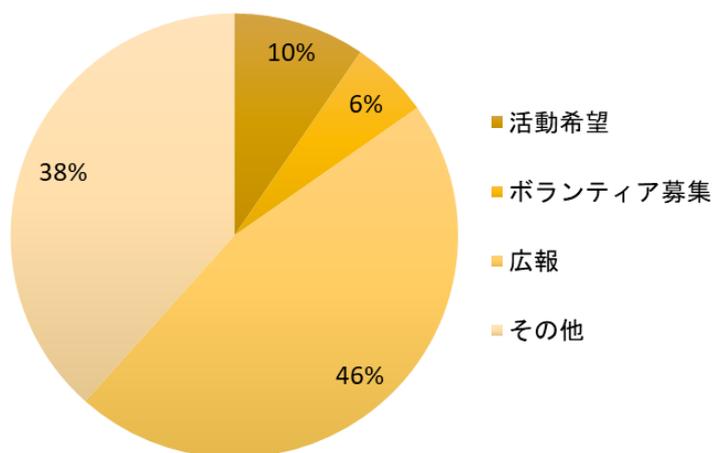
※ちよだボランティアセンターで把握できた件数と人数

受託事業

活 動 内 容		活動件数	活動延人数
CD版	広報千代田、千代田区議会だより	29件	145人

■ボランティア相談内訳

活動希望	110
ボランティア募集	66
広報	527
その他	479



【その他の活動内訳】

・企業の社会貢献活動	… 113件
・センター事業に関する問合せ	… 71件
・企画協力	… 64件
・施設・団体情報	… 49件
・物的資源の利用	… 43件
・寄付	… 34件
・その他	… 29件
・保険	… 19件
・講座	… 14件
・トラブル・事故	… 10件

・Vグループ設立・運営	… 7件
・学校のV活動	… 5件
・Vグループ見学	… 5件
・災害	… 4件
・取材	… 3件
・刊行物	… 3件
・NPO法人設立運営	… 2件
・手話通訳	… 2件
・他社協からの問い合わせ	… 2件

地域課題解決プロジェクト

企業×区内施設

「外出・訪問先が少ない」を解決!

(株)パナソニック × 障害者福祉センターえみふる

施設職員が企業に訪問し、課題をプレゼンする社員向け説明会を実施。その後、社員ボランティアチームが社内で結成され、課題解決に取り組むプロジェクトがスタートしました。



月1回行われている、社内のランチタイムコンサートにえみふる利用者を招待し、社員と一緒にランチを楽しむ交流が続いています。

「介護人材が足りない」を解決!

アース製薬(株) × かんだ連雀

介護施設の人材不足という課題に、区内企業が自分たちの強みを活かす「プロボノ」として関わるプロジェクトを発足しました。まずは、お互いのことを知る話し合いの場からスタート。

施設の理念実現に向けて真摯に取り組む介護職員の様子に感銘を受けた社員ボランティアが、知見を活かして施設の魅力が伝わるコンセプトブックを作成しています。施設の魅力が伝わることで、介護人材確保のお手伝いします。



【1】相談・コーディネート

ボランティア依頼・活動

■個別相談 ～個人の困りごとの相談を受けてボランティアをコーディネート～

相談内容

①ケアマネージャーからの相談。区内に転入した高齢者の方で、自宅で見守り、また趣味の相手を探している。

②認知症の疑いがある方の家族からの相談。自営業をしているが、職場以外に居場所になるような場所はないか。

その後

趣味にあったボランティア活動をしているグループに相談。グループの活動を見学し、一緒に活動することとなった。また、活動することにより、メンバーが見守り活動もしている。

区内の一室で、定期的に切手整理サロンを開催。相談者以外にも、孤独を感じている高齢者の新しい居場所になり、近隣に住むボランティアの新しい活動場所にもなっている。



ボランティアで支える 活動説明会

ボランティアに関心がある方へ

これからボランティア活動を始めたい、関心はあるが活動に踏み出せないなどの方に向けた「ボランティア活動説明会」を実施。ボランティアのみなさんの「できること」で地域の困りごとをサポートして下さる「個人ボランティア」を増やしていきます。

千代田区の現状や課題を知ったり、ボランティアの本質を知ること、活動内容が定まらなかった大学生が、活動の先にいる人のことを考え、子ども施設での活動をスタートさせることができました。



延べ参加者 52名/3回

かがやきボランティア 学習会

個人ボランティア登録した方への学習会

ボランティア活動中だけでなく、日常でも活用できる「傾聴力を養う」「外出支援のコツ」など、資格を持たなくても実践でき、活動に活かせる実技等を学ぶ学習会を開催。すでに活動しているボランティアの方は、学んだことをもとに、高齢者の支援活動に役立てています。

また学習会で学んだことを活かしたボランティア活動ができるようコーディネートの声掛けを行い、ボランティア促進しました。



外出時の付添いの
コツを学ぶ

延べ参加者 74名/2回

■団体からの相談・連携

学校や企業、施設など地域の様々な団体からの相談があります。団体と個人、団体同士をつないで地域とのつながりを広げます。

相談内容	その後
小学校 PTA からの相談。 校庭開放時の見守りを、保護者だけで対応することに限界を感じている。	小学校近隣にある大学のボランティアサークルに相談。現在の子どもたちの様子を聞き、PTA と協働し、地域の子どもたちが安全に楽しく遊べる企画を行っている。



【2】活動支援

ボランティア・グループ
NPO・学校・企業

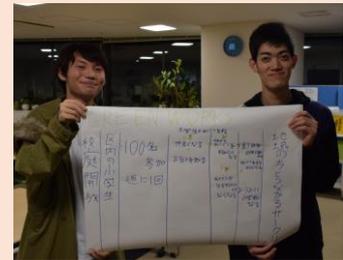
■グループ支援

ボランティアグループの抱える課題を解決する場と機会を提供するとともに、同じ課題を抱えるグループが交流する場を作ることで、さらなる活動の広がりを目指しました。

グループ強化プロジェクト

現在の活動の魅力発信の方法を学び、
ボランティアグループの活動報告書を作成

「メンバーが集まらない」「活動の賛同者や協力者がほしい」などボランティアグループが実際に直面している課題を検討。あらためてボランティア活動で「目指していること」「使命」を考え、そのことを活動報告書にまとめました。



26 団体

47 名

■活動支援

かがやきプラザ研修センターが主催するボランティア養成講座受講者のグループ立上げ支援を行っています。

医療福祉ボランティア

生活習慣病の改善に
みんなで取り組む

生活習慣病講座で日頃の食事・運動について学び、学んだことを継続し、健康について考えあうグループ作りの支援を行いました。

NPO法人講座

千代田区の課題解決に
向けて、前進中！

千代田区の福祉課題について学習し、NPOの特色、立ち上げ方法を学びました。受講後は、他団体の見学や打ち合わせを重ね、千代田区でどのような活動ができるか検討しています。

■配食サービス活動への支援・助成 なでしこ配食サービス麹町・万世橋・神保町

ひとり暮らし高齢者、高齢者世帯、障がい者へ見守りを兼ねて、手作りお弁当を届ける活動を行っているグループの活動支援として、活動場所の確保、助成金の交付と運営のサポートを行っています。



【3】ネットワーク 企業・学生・災害

■ちよだ企業ボランティア連絡会

ちよだボランティアセンターが事務局となり、社会貢献活動に関心を持つ区内企業との協働で事業の企画・開催、及び情報交換を行っています。



連絡会のプログラムの1つ「サンタプロジェクト」。サンタクロース等に扮した社員ボランティアが、区内の高齢者施設等を訪問し、歌や踊りを披露、プレゼントをお渡しします。このプレゼントも企業ボランティアの手作り品で、プレゼント作成ボランティアの気持ちがかもっています。地域の方の笑顔に出会える活動で、ボランティアセンターは施設との連絡調整や、サンタクロースの練習やプレゼント作りの会場提供をしています。

会員企業：24社 ■定例会 4回/年 ■プログラム 4回/年

■大学生ボランティアサークルネットワーク

区内大学のボランティアサークル同士の出会いや交流を目的としたネットワーク。毎月企画の打合せや情報交換を行っています。区内の清掃活動や多世代交流事業に参加するなど、ネットワークとして地域とのつながりを作っています。

Do Nabe Net

岩手県立大学の学生ボランティアセンターOGを招き、DoNabeNetの事例から、学生だからこそできるボランティア活動のあり方を学びました。そして幹事会で各大学サークルの特技やボランティア経験を共有し、区内の福祉課題を解決するための活動を子ども施設でスタートしました。遊べる場所が限られている千代田区で、子どもたちが楽しく遊べる場づくりをしています。

そっと心に寄り添えるお兄さん・お姉さんを目指しています。



■災害に対する取組み「ちよだモデルネットワーク」

「災害時はもちろん、平時からつながるための連絡会を実施し、顔の見えるネットワーク（ちよだモデルネットワーク：通称 CMN）づくりに力をいれています。

●幹事会

幹事会は、災害学習会に参加したメンバーで立ち上げ、学習会の企画やネットワークづくりのための情報交換に組んでいます。

ちよだボランティアセンターは、災害時、「ちよだ災害ボランティアセンター」を立ち上げ、CMN（区内の様々な団体）と連携して区内被災者の支援を行います。



CMN学習会

千代田区で災害が起こったときにどのようなことが課題になるのか、どのように活動していくのか、連携していくのかを、テーマを決めて学ぶ学習会を開催しました。

<テーマ>①「災害発生！支援活動をするために、どこで情報を集めるか？」

得た情報をどのように情報共有していくか？」

- ・災害発生時、電話やメールなどの通信手段が使えないときは、どのような方法で情報を共有していくのかなど

②「帰宅困難者に対して、どう向き合うか」

- ・帰宅困難者で発生したときに、どんな課題が生じるのかなど



学んだことを蓄積・明文化し、ちよだモデル（行動指針）を作成する

学習会 2回/年 31名参加

■災害ボランティア活動助成金

九州北部豪雨、台風15号・19号災害等の被害があった地域で、災害支援活動をする在住・在勤・在学者を対象に活動助成金を交付。被災地でのボランティア活動経験を千代田区活かせるように報告をしてもらい、メールマガジンを登録し、今後の活動への繋がりを作りました。

災害名	活動先	申請者・活動人数
九州北部豪雨	佐賀県内	3名
台風15号	千葉県内	2名
台風19号	福島県、宮城県、長野県、都内、千葉県、栃木県	14名

■介護予防ボランティアグループネットワーク

ボランティアセンターに登録している介護予防を目的に活動しているボランティアグループのネットワークをつくり、各団体の課題や情報を共有しています。

介護予防ボランティアグループネットワーク

ミーティング 2回/年 参加団体 6団体

どの団体も、運営メンバーの“高齢化”や“人員不足”が共通の課題となっていることが判明。



グループの活動を広く知っていただくことや新たなメンバーや参加者を増やすことを目的に、ボランティアグループの活動を見て、体験できる“介護予防・健康づくり見本市”を企画しました ※新型コロナウイルスの影響で開催延期

【4】プログラム開発 ～新たな活動づくり～

■ボランティア養成講座

ボランティア・市民活動への理解を深め、参加のきっかけ作りをします。地域の必要性からあらたな活動な活動生まれることもあります。

シニアボランティア向け 傾聴講座 おいしいお茶の淹れ方セミナー

お茶という身近なツールで、自分のためになり、地域で役立つことができることを伝え、サロン活動等につながるよう実施。

全1回24名

その後・・・

受講生がグループを立ち上げ、区内で月1回のサロンの運営を目標に活動。お茶を通じて高齢者との交流活動を行っている。



災害時寄り添いサポーター養成講座

避難行動や避難生活をする中で、高齢者や障がいのある方など配慮が必要な方々を支えるために、どのような点に配慮し接するか、基本的な知識を身につけ、災害時、そして日常生活の中で困っている人の気持ちに寄り添える「寄り添いサポーター」講座を実施。

全1回18名

その後・・・

災害時だけではなく平時からの活動へも繋がるように、学習会やボランティア情報等の情報提供を行い、つながりを切らないための工夫を行っている。

【5】情報発信

情報誌、メルマガ等

■ボランティア情報誌

ボランティア募集、助成金情報、ボランティアセンター事業の紹介などを掲載しています。

情報誌はボランティア記者の取材記事の掲載や発送ボランティアの封入作業の協力等、多くのボランティアの協力を経て区民のみなさんにお届けしています。

■情報ステーション

商店等の店頭にはボランティアセンターだよりを配布できるコーナーの設置を依頼。必要に応じてパンフレットスタンドの貸出を行っています。駅にも設置してもらおう等、日常の中でボランティア情報が目につくようにしています。

設置数 312箇所



■SNSを活用した情報発信

多様なボランティア・市民活動情報をすぐにお届けできるよう、ホームページやFacebook、Twitterを開設しています。



Facebook



Twitter

■メルマガ ～千代田でつなメール～

Eメールを活用して、ボランティア・市民活動の情報を幅広く提供しています。

配信数 1,867件



ちよだボランティアセンターは「千代田区に住み、働き、学ぶ人がお互いに気にかけて、笑顔が生まれるまち」を目指しています。様々な情報を発信していますのでご覧ください。